

九州版「投資銀」を設立

前社長松尾氏

M&Aや再生支援

九州限定の不動産投資
信託「福岡リート」の運
営会社、福岡リアルティ
(福岡市)の前社長松尾
正俊氏が、九州の企業や
不動産を投資対象とした
ファンド運営などを行う
新会社を設立した。ファ
ンド運営に加え、M&A
(企業の合併・買収)や
事業や不動産再生支援ま
で手掛ける九州版「投資
銀行」を目指す。

新会社は「玄海キャピ

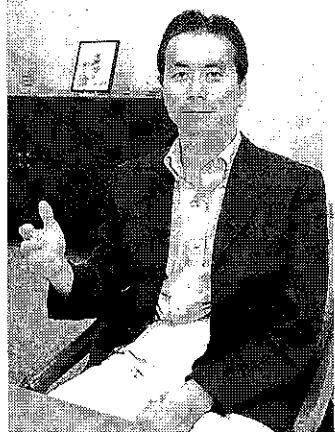
タルマネジメント」。事業
はファンド運営と不動産
投資銀行業務が柱。ファ
ンド部門は九州の不動産
を投資対象とした「玄海
キャピタルファンド」を
創設、機関投資家から二
百億円の調達を目指す。

中央大手資本にはほぼ独占
されてきた開発型の不動
産再生など投資銀行業務
を一貫して手掛ける。企
業や不動産価値の向上に
力を入れる考えだ。

上場して一般投資家か

ら資金調達している「福
岡リート」の運用は、安
定配当を重視するため、
地区で企業再生支援など
を手掛けるコンサルティ
ング会社の「ア・コンピ
タンス九州(福岡市)な
どと連携し、提携外資や

松尾氏は「玄海キャピ



新会社の抱負を語る
松尾正俊氏

松尾氏は「九州には、
収益状態が悪くリートの
投資対象にならない物件
の方が圧倒的に多い。古
いビルやホテルなどに投
資して収益性を高め、リ
ートに投資物件を供給す
る循環をつくりたい」と
話している。

2006年(平成18年)7月4日 火曜日

西日本新聞